

平成31年第2回教育委員会会議録

日 時 平成31年2月27日（木）午後2時30分 開議
場 所 尾道市教育会館2階 会議室
署名委員 豊田委員

午後2時30分 開会

○佐藤教育長 それでは、定刻になりましたので、ただいまから第2回教育委員会定例会を開きます。

本日の会議日程は、お手元に印刷配付のとおりです。

本日の会議録署名委員は、豊田委員を指名いたします。

これより日程に入ります。

日程第1、業務報告及び行事予定を議題といたします。

業務報告及び行事予定のうち、重要な項目がありましたら、順次報告をお願いいたします。

○川齋庶務課長 教育長、庶務課長。議案集1ページをお開きください。庶務課にかかわります業務報告及び行事予定について御報告させていただきます。

まず、業務報告でございます。2月20日、市議会の本会議が開会しております。

行事予定でございます。まず、3月6日、広島県女性教育委員グループ第3回研修会が行われます。本市より中田委員、豊田委員の2名に御出席をいただきます。3月18日でございます。向東幼稚園の閉園式が行われます。また、市議会の日程がごらんのとおり、19日の閉会まで続く予定になっております。次回の教育委員会会議でございますが、3月22日金曜日を予定しております。以上でございます。

○安藤主幹（学校施設整備担当） 教育長、学校施設整備担当主幹。学校施設整備に関する業務報告及び行事予定について御説明をさせていただきます。2ページをごらんください。

まず、業務報告です。2月12日に、公立学校施設の一刻も早い耐震化完了に向けた文科省ヒアリングがありました。担当者から、なぜ耐震化が完了していないのか、実情等を教えてほしいという趣旨のヒアリングを受けました。文科省の担当者からは、立场上耐震対策ができていないことについて例外を設けることはできない。また子供たちの安全・安心を図るため、耐震補強が可能な学

校については耐震補強をしてほしい。そして国も国土強靱化計画に基づいて、平成32年度まで耐震対策について交付金等の手当てをしているので、活用して耐震化を早期に完了してほしいという依頼がありました。

次に、2月18日に保護者を対象に土堂小学校校舎耐震化説明会を行いました。限られた時間の説明会で、十分な質疑、応答の時間がとれないため、説明会を聞いてわからなかったこと、あるいは聞いてみたいことを後日アンケートに記入して提出するよう依頼しております。

次に、行事予定です。議会の議決を必要とする3件の事業につきましては、2月25日の議決を経て、26日から事業着手をしております。以上です。

○内海生涯学習課長 教育長、生涯学習課長。生涯学習課の業務報告並びに行事予定について御報告をいたします。3ページをごらんください。

まず、業務報告でございますが、2月8日に親（おとな）の道德教育講演会を市民センターむかいしまで行い、416人の参加をいただいております。

行事予定ですが、3月3日に第35回子ども会駅伝大会を行います。3月9日土曜日に、おのみち市民大学・家庭教育支援講座として、子供の生活とメディアに関する講演会を行います。3月14日に、第2回目となります市立図書館協議会を行います。

続いて、図書館について、指定管理者から報告のあった事業の報告をいたします。4ページをごらんください。中央図書館の業務報告と行事予定につきましては、記載のとおりです。なお、2月28日から3月3日を特別整理期間のため休館といたします。

続いて、5ページです。みつぎ子ども図書館の業務報告につきましては、2月3日にマホラ・ジャズコンサートを行い、尾道、福山地域で活動しているミュージシャンでございますが、67人の参加をいただいております。行事予定につきましては、記載のとおりです。

次に、6ページをお願いいたします。瀬戸田図書館の業務報告につきましては、記載のとおりです。行事予定につきましては、3月2日におはなしと音を楽しむ会、読み聞かせとミュージックケアを行います。

次に、7ページです。因島図書館の業務報告につきましては、記載のとおり、2月6日から13日を特別整理期間のため休館といたしました。行事予定につきましては、3月9日に朗読フェスタを行います。また、3月16日に「野菜づくりのコツと裏ワザ」と題した講習会を行います。

続きまして、8ページをお願いいたします。向島子ども図書館の業務報告につきましては、2月20日に尾道特別支援学校から7人の生徒の見学の受け入れ

をしております。また、2月23日に大人のための朗読会を行い、273人の参加を
いただいております。なお、1月29日から2月1日までを特別整理期間として
休館といたしました。行事予定につきましては、記載のとおりでございます。
以上でございます。

○加來因島瀬戸田地域教育課長 教育長、因島瀬戸田地域教育課長。因島瀬戸田
地域教育課の業務報告並びに行事予定を御報告いたします。9ページをごらん
ください。

業務報告につきましては、記載のとおりでございます。所管する4施設にお
きまして、消防法で義務づけられております消防訓練が行われました。

行事予定につきましては、記載のとおりでございます。3月14日に、旧土生
小学校の第2期解体撤去工事、旧中庄幼稚園の解体撤去工事の開札が予定され
ております。以上でございます。

○島谷美術館長 教育長、美術館長。美術館の業務報告並びに行事予定を説明い
たします。10ページをお開きください。

まず、業務報告でございますが、2月8日から17日まで、第15回尾道市立大
学美術学科卒業制作展を開催いたしました。期間中10日間で2,561名の入館者が
ございました。2月9日、小林和作奨励賞表彰式がございました。尾道市立大
学大学院油画研究科1年生永石卓哉さんが受賞されました。2月23日から3月
10日まで、第18回絵のまち尾道四季展を開催中でございます。ちなみに2月
24日の天皇在位30周年の無料開館の日には740名を超える入館者がございま
した。

行事予定につきましては、3月16日から、本年度最後になりますが、特別展
「北欧を愛するすべての人へリサ・ラーソン」の展示会、陶磁器約190点を展示
いたします。

圓鑊勝三彫刻美術館並びに平山郁夫美術館につきましては、記載のとおりで
ございます。以上です。

○小柳学校経営企画課長 教育長、学校経営企画課長。学校経営企画課に係る業
務報告並びに行事予定について御報告いたします。11ページをごらんくださ
い。

まず、業務報告についてですが、2月13日、学校経営サブリーダー研修会を
行いました。8グループによるテーマ別研修発表会を行い、テーマは組織体制
の充実による学校経営の活性化等でした。7月末の企業訪問等は中止となりま
したが、その後、グループ独自で企業訪問等を実施し、研修を深めている姿が
ありました。また、発表に向けた準備を積極的に行う姿や研修での主体的な姿

から、学校経営企画課で目指す主体的に行動、活動する研修になったと手応えを感じているところでございます。

2月18日、向東地域学校運営協議会を行いました。今年度から小中が一体となった学校運営協議会、学校と地域が協働し子供の未来を開くことに取り組み、地域の力もお借りしながら、小中連携による教育活動が進みつつある状態であると捉えております。来年度のグランドビジョンも披露され、小中学校教職員の一体感やコミュニティ・スクールに対する有用感が実感できるよう、今後も取り組んでまいります。

2月19日、今年度最後の定例小中学校校長会を行いました。その他は記載のとおりでございます。

続いて、行事予定についてですが、3月1日に尾道南高等学校、3月10日に中学校、3月22日に小学校において卒業証書授与式を行います。以上でございます。

○**豊田教育指導課長** 教育長、教育指導課長。教育指導課に係る業務報告並びに行事予定について御説明申し上げます。12ページをごらんください。

初めに、業務報告です。2月15日金曜日、小学校外国語活動研修会を実施いたしました。本研修会は、県の指定を受けている日比崎小学校を会場に年間3回実施するもので、この2月が最後の研修会となりました。各小学校から外国語活動を担当する教員及び高学年担任の2名が参加し、パワーアップリーダーと呼ばれる中核となる教員の授業参観後、県教育委員会の指導主事からの指導助言をもとに、新学習指導要領を踏まえた小学校外国語活動の指導方法などについて研修を深めました。

2月14日木曜日、尾道小学校教育研究会、2月18日月曜日、尾道中学校教育研究会が行われました。いずれも各教科や教育別部会において、研究部長を中心に今年度の取組のまとめなどが行われました。

続いて、行事予定でございますが、行事予定は記載のとおりです。以上です。

○**佐藤教育長** ありがとうございます。ただいまの報告について、御意見、御質問はございますでしょうか。

○**村上委員** 土堂小学校の耐震化について1点お聞かせ願いたいのですが、保護者を対象にした説明会をしたということですがけれども、保護者の出席率といたしますか、何名ぐらいの出席があったのでしょうか。

○**安藤主幹（学校施設整備担当）** 教育長、学校施設整備担当主幹。保護者の出席は170人と伺っております。ただ、児童数は全部で299人ですけれども、保護

者全体の人数の詳細な数字はわからないものですから、何割という数字は今持ち合わせておりません。以上です。

○村上委員 はい、わかりました。

○佐藤教育長 ほかにございますか。

○中田委員 12ページの教育指導課の行事予定にあります、いじめ防止対策委員会についてです。この内容は多分定例の連絡協議のようなことだと思うのですが、現在具体的に本市で話題になっている件数ですとか、お答えできる範囲でいいので、内容についてお聞かせください。

○豊田教育指導課長 教育長、教育指導課長。3月7日に第3回尾道市いじめ防止対策委員会を予定しております。この会は第三者による委員会であり、いじめにかかるとの審議や調査を行うもので、例年3回程度開催しています。内容については、今年度の本市のいじめの現状について整理し、来年度に向けていじめの未然防止やいじめ発生時の対応について、今年度の取組などを見ていただき御助言をいただいて、来年度につなげていきたいと考えております。

今年度の1月末までの暫定値ではございますが、いじめの件数は、小学校は49件、中学校は19件、合計68件で、昨年度の57件よりもいじめについては11件増えている状況でございます。以上です。

○佐藤教育長 よろしいですか。

○村上委員 このいじめというのは、子供同士のいじめということですか。

○豊田教育指導課長 教育長、教育指導課長。いじめの件数は、子供同士のいじめのカウントとなっております。

○村上委員 親から虐待を受けているとか、そういった案件は尾道市ではないということですか。

○豊田教育指導課長 教育長、教育指導課長。児童虐待にかかわることですけれども、これについてはいじめの中にカウントをしておりません。

ただし、教育委員会は児童虐待に関することの報告を学校から受けるようにしております。そして、教育委員会も子育て支援課や東部こども家庭センターと、報告をもとに連携して取り組んでいます。

○佐藤教育長 他にございますか。

○奥田委員 学校経営企画課の説明にございましたが、尾道市立小中学校の学校経営サブリダー研修会についてお伺いします。

8グループが非常に意欲的に研究をしておられるということですが、こういう若手中心といいますか、新しい学校経営をどのようにしていくかということを研究されることは素晴らしいことだと思います。

組織的にどういう形で進めておられるのかということを知りたいのですが、8グループの中に、例えば小学校と中学校の教員が同じグループに入っているのか、それとも小学校は小学校、中学校は中学校での組織なのか、1グループ当たり何人で運営しておられるのか。

それから、2月13日は水曜日ということですが、時間は大体いつ頃集まられて、どのくらい協議しておられるのか、そういった内容についてお伺いしたいと思います。

○小柳学校経営企画課長 教育長、学校経営企画課長。学校経営サブリーダー研修会でございますが、この研修の対象者は教頭、主幹教諭、総括事務長、事務長のいわゆる管理職、校長以外の管理職が対象になっている研修会です。これはもちろん小中一緒に行っているところですが、今年度のサブリーダー研修会は年間7回実施しております。年間を通してグループを決め、テーマを決めて、1年間それに沿って研修をして深めてまいりました。

1グループは大体6名ぐらいで、小学校と中学校の教頭等は一緒になっております。ただ、事務長は事務長グループということで、事務長だけのグループになっております。

サブリーダー研修会は、午後1時30分から4時30分までの3時間の研修内容で、発表会の日は2時間ぐらい時間をとって、発表を見て回る、お互い聞き合うということをして、理解を深めて、お互いの研修の発表の場とさせていただいたところですので。以上でございます。

○奥田委員 ありがとうございます。学校経営企画課が1年間指導してこれらこれは研修会の成果だなということを感じられるところがありましたら報告いただければと思います。

○小柳学校経営企画課長 教育長、学校経営企画課長。この研修の成果は、来年度大いに期待をしているところですが、教頭等が主体的に物事を進めるような意識がかなり出てきたということを研修会の中でも見ることができました。お互い発表し合う中で、特にミドルリーダー層をどのように育成していくのか、働き方改革をどのように進めていくのかということも研究しておりますので、きっとこの後、学校の中でそれぞれが実践していけると、来年度に期待をしているところでございます。

○奥田委員 わかりました。ありがとうございます。

○佐藤教育長 他にございますか。

○豊田委員 教育指導課にお尋ねします。12月に市の学力テストを実施されたと同っているのですが、結果がもう出ているのでしょうか。もし出ている

ら、傾向や課題、成果を教えてくださいと思います。

もう一点、これは学校経営企画課になるかと思うのですが、今働き方改革等についていろいろと御議論をされていますけれども、市内の学校で教職員が病気になるって休んでおられる事実があるのかどうか教えてくださいと思います。

○**豊田教育指導課長** 教育長、教育指導課長。まず、1点目の市が行いました学力調査の結果から御報告させていただきます。この学力調査は、12月に小学校の1年生から4年生を対象に実施をしたものです。1年生から3年生までは国語と算数、4年生は国語と算数に加えまして社会と理科の4教科を実施いたしました。結果については、今月の初めに届いておりますので、この結果の概略を申し上げます。

まず、国語と算数でございますが、全体の傾向で言いますと、小学校1年生では余り差は見られませんでした。ただし、2年生から学校間の格差が顕著に出ているという傾向があります。それから、尾道市全体では、3年生が国語も算数も全国平均を下回っているという結果でした。そして、教科で言いますと、国語よりも算数のほうが課題があるという結果が出ています。それから、同じ学校でもよくできている学年と全国平均を下回っている学年があり、学年によって正答率の差が大きい学校もあるということが課題ではないかと思っております。

この結果を受けまして、残り1カ月ほどですけれども、今年度中につけるべき力を確実に身につけさせて、上の学年へ進級させるように、学校も分析をして取り組んでいるところです。以上です。

○**小柳学校経営企画課長** 教育長、学校経営企画課長。続いて2つ目の教職員の健康管理についてですが、これについては学校において衛生懇話会を定期的に行なう開催しまして、入退校の時間等も勘案しながら、その中で教職員の健康状況を把握し、改善するべきは改善していくということを行っているところです。

今年度、病気休職中の教職員は何名もおりますが、今手元に資料を持ってきていないので何人ということは言えないのですけれども、複数名いることは事実でございます。一般疾病の者、精神疾患による者、両方おります。

しかしながら、現段階で授業に穴があくとか、学級担任不在とか、そういった状況はありません。今後も働き方改革を進めていく中で、休職者を出さないように取り組んでいきたいと思っております。以上です。

○**佐藤教育長** よろしいですか。

○**奥田委員** はい。先ほど説明いただきました働き方改革についてです。具体的

な人数は今手元にないということですが、今年度クラブ活動も週2回は休もうということでスタートされていると思います。実際そういうことが円滑に行われているのかということと、休職の方も昨年度と比べて増えているのか、減っているのか、そのあたりをわかる範囲で御説明いただければと思います。

それともう一点、教育指導課に学力調査の説明をいただきましたが、4年生の理科と社会が全国平均に比べてどうだったのか、その傾向もあわせて教えていただければと思います。以上です。

○**小柳学校経営企画課長** 教育長、学校経営企画課長。今年度より働き方改革の一環として、運動部活動の週2日の休養日を設けるということを進めております。これについては、昨年10月に運動部活動の方針を策定させていただきました、各学校においても運動部活動の方針を策定して、実行しているところです。

現在私どもが把握している中では、円滑に進んでいるのではないかと考えておりますし、市教委としてもこれを実動化させるために、保護者等に配る月中行事に必ず明記をするように指導しております。毎月確認はしておりますが、ほぼ明記できております。明記していない学校については、指導を繰り返しております。

それから、病気休暇などの休職者の傾向ですけれども、増えている、減っているということはなく、同等程度と捉えているところでございます。

○**豊田教育指導課長** 教育長、教育指導課長。続きまして、学力調査の4年生の社会と理科の結果でございますが、社会科については、全国平均よりも2ポイント、尾道市が下回っております。理科についても、全国平均と比べますと、0.5ポイント下回っているという結果でございます。

○**豊田委員** 学力調査の件ですけれども、1年生はほぼこの学校も格差がなかった。2年生から学校間格差があり、幾らか差が見えたということですね。それから、3年生は国語が全国平均を下回り、算数にも課題があるということだったのですが、総じて国語の力がついていなかったと捉えていいのでしょうか。

それから、算数にも課題があったようですが、その課題は具体的にどこでしょうか。やはり教育内容が多くて差がしやすいのは4年生ぐらいからだと思います。それから国語についてはどの学年も下回っているということであれば、来年度へ向けて学びの変革の中身を少し検討し直してみないと、なかなか結果が出ないのではないかという気がするのですけれども、教育指導課の見解を求めます。

○**豊田教育指導課長** 教育長、教育指導課長。先ほどの私の説明が少し足りなかったもので、もう一度改めて説明させてください。

まず、国語ですけれども、国語は1、2、3、4年生のうち、1年生と2年生と4年生は全国平均を上回っております。特に4年生は全国平均を3.3ポイント上回っております。3年生も、全国平均よりも下回っておりますが、マイナス0.7ポイントというぐあいです。算数は、1年生と4年生が全国平均を上回っております。2年生と3年生が全国平均を下回っているという状況です。

1年生は全国平均と比べますと、国語はプラス0.1ポイント、算数はプラス0.2ポイントで、若干上回っているという状況で全国平均と余り差はありません。算数について市内の学校間の差を見ると、2年生は1年生のときの差と比べると学校間格差が倍以上になっています。今おっしゃっていただいたように、我々も4年生のときに差が出るという認識を持っていたのですが、2年生ぐらいから差が顕著に出ているということがこの調査でわかりました。

それから、算数に課題であるということですが、2年生の九九がきちんとできていない学校があり、掛け算が定着していないということがわかりました。繰り下がりの引き算ができない、九九ができないことは、当然3年生の割り算もできないという結果になります。もちろんできている学校もたくさんあるのですけれども、できていない学校については、きちんと力をつけていくように指導をしているところです。

それから、来年度に向けて学力をつけていくために、授業改善を当然進めていくのですけれども、その中の視点としてカリキュラムマネジメントという学校全体を資質、能力でつなぎ、なぜこの学びをしていくのか、この学びを通してどんなことが自分の身についたのかという振り返りの時間を重視しながら、全ての教育活動は必然性があるものとして子供たちの主体的な学びを育成し、学力向上につなげていく取組を計画しているところです。以上です。

○**豊田委員** 働き方改革とかかわるかもしれませんが、今のお話をお聞きしますと、既にもう2年生ぐらいから差がかなり出てきているということでしたので、例えば1週間の時程の中で遅れが少しある子供に対する個別指導がとれているのか。以前には組織的に1週間のうちのどこかを固定して、1時間なら1時間、指導時間をとって、その1週間の中でできていなかった内容について丁寧に個別に指導して、格差をなくしていこうという取組をしていたのですけれども、そういったことが各学校で継承をされているのか、先生方にそれぞれ任されているのか、学校に任されているのか、そのあたりをお聞きします。

というのは、遅れが低学年でもあるという現実があるならば、早いうちにも

うその週でもいいし、その日でもいいのですけれど、少し時間をとって、その子について指導することで解消できる点も大いにあると思うのです。そういう点はどうなのでしょう。

○**豊田教育指導課長** 教育長、教育指導課長。学力補充をしていくための個別の指導時間の確保ですが、これについては学校の時間数が増えている中で難しい面はあるかと思えますけれども、低学年では時間がありますので、学力補充の時間をとったり、放課後、あるいは給食時間や休憩時間などを利用して、個別に呼んで指導しているという話を聞いております。

○**村上委員** そもそも学校間格差とか学年間格差があるわけですがけれども、要因は何なのでしょう。

○**豊田教育指導課長** 教育長、教育指導課長。学力差の考えられる原因としては、やはり学力対策が担任任せになっているということが大きな原因ではないかと思えます。

先ほど申しあげましたように、同じ学校の中でも良い学年もあるが、全国平均を大きく下回る学年もあります。ですから、学校の中で統一した指導スタイルをきちんと身につけて、各担任がそれに応じて授業を進めていく。そういったスタイルができていない学校は、結果に表れていると思えます。私どもが学校を訪問し、様子を聞く中で、そういった体制の学校は結果として差が出ていると感じます。

○**村上委員** ということは、来年はきっちりとそういう体制をつくれば、学力は必ず上がるということですか。

○**豊田教育指導課長** 教育長、教育指導課長。必ずとは言いがたいのですけれども、課題を分析して、市教委も結果を受けて各学校に連絡をしたり、訪問もしておりますので、学校をあげて取り組むように続けて指導してまいりたいと思えます。

○**村上委員** よろしく申し上げます。

○**佐藤教育長** 今、いろいろ御質問をいただいたので、それも踏まえての話になるかもわかりませんが、学力調査について聞きます。2月の初めに結果が出て、各学校に課題があり、尾道市として取り組まないといけないものがあったり、いろいろなパターンがあると思うけれども、その中で全国学力調査や基礎基本調査は、各学校の課題をまとめてホームページにアップし、保護者に十分今の学校の現状を見ていただいています。現在はどうなっているのでしょうか。

それが、年度末までにつけるべき力をつけて進級という話であったけれど

も、以前にも時期的に大丈夫ですかと質問したら、大丈夫ですよという説明を受けたけれども、ホームページのことや年度末に全部を整理していこうとしたときに、やはり時期的に本当に間に合うのだろうかということを感じるのだけれど、現状ではどうなっていて、どうしようと思っているのですか。スケジュールも含めて大丈夫ですよ説明をいただければわかりやすいのですけれども、まずそれをお願いします。

○**豊田教育指導課長** 教育長、教育指導課長。市の学力調査の結果について、ホームページなどでお知らせするというのを学校には求めておりません。ただ、市全体の結果は、教育委員会のホームページにアップしております。

現状としては、学校個別の結果は届いておりますので、先ほども申し上げましたように、担当の指導主事が学校が取り組んでいる現状を聞き取りをして進めています。

尾道市全体としては、学力向上に向けて、各校の課題が違いますので、年度が変わってもその状況を継続するように校長会などで話をしています。

○**佐藤教育長** 今年の学力調査の状況について、本会議の場でなくても構わないので、今口頭でやりとりをしたけれども、教育委員さんに個別と全体の実態を整理したものを提示していただいて、それを共有化したほうがいいと、今までいただいた意見を総合的に考えたら、そう思いました。そうすることが今回第1回を行い、それを受けて次にどんなことを行えばいいのかということにもつながってくると思うので、お願いをしたいと思います。

次に、学校経営企画は、働き方改革について今年から小学校、中学校の状況についてデータをとり出したじゃないですか。それから、来年は校務支援システムの導入も予定しているので、A4の横判だったと思うけれど、それを教育委員の皆さんに見ていただければ、現状をきちんと把握した上で、ああ、こうなっているのだなということがわかると思う。精神疾患については資料があったかどうかわからないけれど、お願いしたいと思います。

○**小柳学校経営企画課長** はい、わかりました。

○**佐藤教育長** 次に、これは自分が勉強不足だったのですが、9ページの因島瀬戸田地域教育課のところですか。消防法に基づいて消防訓練を行ったという説明でした。これは消防法ということになれば庶務課所管の施設についても同じように行っているのか、消防局が行っているのか、施設側が行っているのかということがよくわからないので、補足説明をしてもらえますか。

○**加來因島瀬戸田地域教育課長** 教育長、因島瀬戸田地域教育課長。こちらに具体的に書いてあるとおり、因島椋の里ゆうあいランドにつきましては、椋浦町

の防災訓練とあわせて消防訓練をさせていただいております。私どもの職員と地域の方が訓練に参加しております。

それから、田熊市民スポーツ広場は利用者の方にも参加させていただいて、私どもの職員を中心に消防訓練を行っております。

因島体育センターは年2回実施する必要があるがございます。特定用途防火対象物ということで行っております。これにつきましても、体育センターの利用者に、私どもの職員も立ち会いまして、通報訓練や実際の避難訓練という形で実施しております。以上です。

○佐藤教育長 地域教育課だけに聞いているのではなくて、生涯学習課にもかかわる。今の説明では施設管理者側の責務において、利用者の方を交えて行うということでした。この報告に載せるのかを統一することが必要なのか、そのあたりを生涯学習課や庶務課も簡単で結構なので、教えてください。

○安藤主幹（学校施設整備担当） 教育長、学校施設整備担当主幹。教育委員会庶務課所管の施設として、閉校した旧小学校や中学校があります。消防法に基づきまして、防火管理者の選任届等、所定の必要な届出が当然要るわけですから、それについては庶務課から適宜消防局に提出させていただいております。先ほど因島瀬戸田地域教育課からお話がありました地域の方と一緒に消防訓練ですが、庶務課の職員が閉校した小中学校等に出向いて、消防訓練を行っていないのが実情です。以上です。

○内海生涯学習課長 教育長、生涯学習課長。生涯学習課も体育館、生涯学習センター、青少年ホーム等を所管してございますので、もちろん消防訓練を行っております。ただ、この業務報告や行事予定には上げておりません。あと指定管理者が独自に行っている場合もございます。

○佐藤教育長 今後はレベルをそろえることを、よろしくお願いします。

○村上委員 今度5月に10連休があるのですが、その時にはたくさんの観光客が来られるのですけれども、教育委員会の中で、例えば図書館や美術館で外から来た人に尾道を発信するといいますか、そういう行事を何か考えておられますか。なければならないで結構です。

○内海生涯学習課長 教育長、生涯学習課長。図書館で10連休を利用してというのは、今のところ聞いておりません。

○島谷美術館長 教育長、美術館長。美術館につきましては、10連休は全て開館します。特に観光客に対してアピールする事業はないのですが、今リサ・ラーソンの委託業者様と協議を続けているのですが、観光協会さんとおのみちバスさんのバスラッピングができないかどうか、費用面も含めて今協議を始めたと

ころです。

○村上委員 わかりました。よろしくお願いします。

○奥田委員 先ほど教育長さんからまとめていただきましたが、学力向上の分析ということにつきまして豊田委員さんが質問されて、いろいろ具体的な話も出て、議論も深まったところですが、結局委員さんがまずは発問されて、そこから議論という。今後もやはり学力向上がどう進んで、順調にいつているのか、学力の定着が進んでいるのかということが教育委員会としての大きな柱でもございますので、大体ある程度の結果や見通しが出たら資料を出していただいて、そこで先ほどぐらいの説明をいただきながら、またお互いにディスカッションしながら、進めていけたらいいと思います。今後はそういう形でお願いできたらと思いますので、よろしくお願いします。

○佐藤教育長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤教育長 ないようですので、日程第1、業務報告及び行事予定を終わります。

次に、前回の定例会において中田委員並びに村上委員から学校施設整備に関する進捗状況についての質問がありました。これについて回答をお願いします。

○安藤主幹（学校施設整備担当） 教育長、学校施設整備担当主幹。それでは、学校施設整備耐震化、空調設備、トイレの洋式化、ブロック塀の修繕、この4点についての進捗状況の御説明をさせていただきたいと思います。お手元に資料をお配りさせていただいておりますので、それをごらんください。

まず、学校施設の耐震化の状況です。耐震化の状況の資料の中ほど、大きな項目の2番に、学校施設の耐震化率の表があります。学校の区分ごとに、耐震化率あるいは要改修の数字を掲載しております。小中学校全体で耐震化率が95.7%となっております。要改修、まだ耐震化が済んでいない学校が、小学校にあっては6棟、これは土堂、長江、久保小学校の3校です。引き続きできるだけ早期に耐震化が完了するように、県と協議を行っているところです。

次に、幼稚園については耐震化の状況は、耐震化率70%となっております。要改修の棟は3棟あります。この3棟というのは、栗原、三成、向東の幼稚園の3園でありまして、向東の幼稚園は本年4月に向東認定こども園への移行を予定しております。また、栗原幼稚園にあっては来年4月に尾道中央認定こども園に移行する予定です。あと三成幼稚園につきましては、今後も引き続き就学前、あるいは保育施設の再編計画の進捗状況等も勘案しながら、認定こ

ども園化に移行することによりまして耐震性を確保していきたいと考えております。

次に、空調関係の進捗状況です。お配りをしておりますスケジュール表をごらんください。電気方式、大規模改修事業による電気方式での改修、それからガス方式の3つの方法で現在進めております。

まず、電気方式ですけれども、このスケジュール表の一番左側に通し番号を振っておりますが、4番目の土堂、高見、因北、瀬戸田小学校までのブロックが本年2月末までに完了する予定でおります。引き続きまして、大規模改修方式での電気方式、そしてガス方式での空調設備の整備を行う予定でおります。

この中で高須小学校と向島中央小学校の空調設備につきましては、当初計画では夏休みの期間中に空調機器の設置計画をしてございましたけれども、できるだけ早期に設置が完了するように、5月の連休あるいは土曜、日曜、祝日にも教室内への機器の設置を行うことによりまして、7月上旬には試運転ができるよう現在目指しております。

ガス方式については、2つのブロックに分けまして、電気方式と同様に休業日に取りつけを行い、また、春休みにも取りつけ工事を行いまして、6月末までには試運転ができることを目指して施工させていただく予定でおります。

次に、小中学校のトイレの洋式化に関する進捗状況です。小中学校のトイレの洋式化については、29年度からトイレの設計業務を外部に委託をしております。翌年度にそれぞれ洋式化の改修工事を進めております。この一覧表に設置をする箇所を掲載しておりますけれども、小学校ではここに記載しております29年度から31年度までで基数が233基、中学校では同様に29年度から31年度までで149基、合計382基の改修を予定しております。

この表以外としまして、32年度に小学校で30基の施工を予定しております。さらに向島中学校校舎の改築工事、栗原中学校の大規模改修によるトイレの洋式化を含めまして、29年度から440基の洋式化を進める計画でおります。これによりまして小中学校の洋式化率は、本年3月末現在39.8%の見込みが、33年3月末現在51.2%の見込みと予定しております。

次に、ブロック塀の緊急修繕についてです。昨年の9月に大阪北部地震が発生しまして、ブロック塀の緊急点検を実施しました。その結果、この表の上段の中ほどにありますけれども、安全性が確保されていない施設数として23施設あります。このうち既にブロック塀の解体撤去等の対策が済んだもの、そして現在改修中を含めまして、年度末には18施設で安全対策が完了する見込みです。そして、31年度以降、残る8施設について対応する予定です。

学校施設整備の進捗状況については以上です。

○佐藤教育長 ありがとうございます。両委員さん、よろしいですか。

○中田委員 はい。

○村上委員 はい。

○佐藤教育長 次に、前回の定例会において豊田委員さんから学びの変革につながる目標設定及びその達成状況についての御質問がありました。これについての回答をお願いします。

○豊田教育指導課長 教育長、教育指導課長。前回の定例会で学びの変革につながる目標設定及びその達成状況について御質問をいただきましたので、お答えさせていただきます。

学びの変革の狙いは、子供たちの主体的な学びを育成することにあります。そのためにこれまで日々の授業などで、課題発見、解決学習に取り組んできました。このことが学びの変革につながると捉えておりますので、その状況をもとに御説明申し上げます。

まず、目標ですが、これは尾道教育みらいプラン2の成果指標に示しております小学校5年生と中学校2年生を対象に、広島県教育委員会が6月に実施をします基礎基本定着状況調査の児童生徒質問紙における主体的な学びに関する質問項目に、肯定的に回答している児童生徒の割合が該当すると考えております。

どのような質問項目かといいますと、その質問紙は全部で44項目ありますが、そのうち課題発見、解決学習に関する質問は15項目あり、例えば解決しようとする課題について、なぜだろう、やってみたいと思うということや、自分の考えを積極的に伝える、あるいは友達と話し合い、考えを深め広げているなどの質問項目があります。尾道教育みらいプラン2の最終年度に当たる平成33年度に、これら15項目の質問に対して小学校では80%の児童、中学校では70%の生徒が肯定的に回答することを目標としております。

そして、この県の質問紙と同じ15項目を本市の尾道版学びの変革推進事業において年間2回、小学校4年生から6年生の全児童、中学校は全生徒を対象に、課題発見、解決学習に関する質問として行っております。本日はこの12月に行いました2回目の結果をもとに説明をいたします。

この質問紙の12月の達成状況で申し上げますと、小学校は80.3%、中学校は70.5%の割合でした。昨年度小学校は、同じ質問では76.9%、それから中学校は71.2%で、昨年度と比べると小学校では向上しておりますが、中学校は若干下がっております。しかし、目標としている70%は2年連続で上回ることがで

きていると捉えております。

学びの変革の達成状況は、何%達成したと明確に答えることはできませんが、こうした結果から、本市の子供たちは以前に比べると主体的に学びつつあると捉えております。しかし、6月に実施をしました県の調査においては、県の平均と比べるとここ2年間、小中学校ともに下回っていることから、課題であると認識をしております。引き続き課題発見、解決学習を充実させて、主体的な学びを育成し、学びの変革をさらに進めていきたいと思っております。以上でございます。

○**豊田委員** ありがとうございます。市内で調査をしたときには小中ともに向上しているということなのですが、6月に県の調査をすると下回っているということは、その時々の子供によるかもわかりませんが、目標とする数値までの達成率は、ほぼ達成しているけれども、いまいちというところもあります。先ほどの学力調査も踏まえて、来年度はさらに主体的な学びになるように、こういうことを重点的にしていきたい、学校へも指導したいということがありましたら教えてください。

○**豊田教育指導課長** 教育長、教育指導課長。来年度、学校において重点的に取り組んでほしいことは、振り返りの時間を必ず確保することです。1時間の授業もそうですし、さまざまな教育活動において、自分の学びをその時点で振り返って、自分の成長がどうだったかということに関心を持つことで次への学びの意欲につなげる振り返りの時間を確保するということを来年度に向けて指導しているところです。

○**豊田委員** ありがとうございます。徹底して行うことが大事だと思うのです。教育委員会からも学校に対して、授業研究やいろいろな場を通して取組を徹底させるような指導がもっと要るのではないかと思います。してくださいと言ったら、学校現場はするのですけれども、本当に必要感を感じて徹底して子供の学力向上につなげていくように取り組む学校と、そうでない学校もやっぱりあると思うのです。学校が良い悪いではなくて、教育委員会としてこの点がどうなっていますかということ定期的に評価したり、指導することが必要だと思います。決めたことは徹底してやろうという意思や意欲が市全体に反映することを望みます。以上です。

○**佐藤教育長** 他にございますか。

○**村上委員** 豊田委員さんが言われたように、徹底して行うことは大事なのですが、それは後から検証できますか。

○**豊田教育指導課長** 教育長、教育指導課長。やはり言うだけではだめです。学

校組織で行わない限りは徹底できないので、繰り返し指導をしていきたいと思
います。

それから、検証ができるかということですが、指導主事が校内研修に
行きますので、そのときに振り返りの時間が確保できているかを見取り、でき
ていない場合は入れるように繰り返し指導をすることで確認できると思いま
す。あとは市が行っている質問紙にも、振り返りのことに関する質問項目があ
りますので、その辺を意識しながら、分析していきたいと思っております。

○**奥田委員** 振り返りの時間を各授業の中で設けて考えさせることも一つの大き
なやり方で、有効だと思いますが、他にも柱になるものはないのかなというこ
とをお聞きしてみたいと思います。

県の調査で非常に高い学校もあれば低い学校もあり、主体的に学ぶことがで
きている学校は、共通してどういうことが授業の中でできているか、学校体制
としてどう進めているかという分析をして、そしてあわせて主体的に学んでい
るから学力も上がっているという学校のデータやノウハウも分析してはどうで
しょうか。一つは振り返りの時間があるということもあるのですが、その
ほか何か、こういうことがあるから子供たちが主体的に学び、また学力も上
がっているという、ほかの要素はありますか。

○**豊田教育指導課長** 教育長、教育指導課長。振り返り以外の要因としては、や
はり徹底ということが当然あるかと思えます。担任が先ほどの九九では何度
も何度も休憩時間も利用して指導することは、当然学力を定着させていく上で
は大事なことだと思います。そういった九九などを徹底させるノウハウは、教
員が経験を積み身につくのですが、若い先生が増えていく中で、一回授業で
行ったからと言って認識が十分でないケースもありますので、学校で組織的に
取り組んでいくことが重要だと思っております。以上です。

○**奥田委員** 特に教育委員会が、次年度はこれを徹底して強調して行いたいこと
を進めていただければいいと思います。

ただ、教育委員会の分析の中で、これはいいやり方だな、こういうところがある
から主体的な子供に育てているのだなという、各学校の現場をよく理解して
おられるわけですから、こういう要素も必要だとかの見方を提示することも
学校へのいい助言になると思えますので、その辺も整理していただければと思
います。

○**杉原学校教育部長** 教育長、学校教育部長。いろいろと御意見をいただきまし
てありがとうございます。

我々がいろいろなことを行うことも大事ですが、一番大事なことはやはり教

職員の意識をどこまで高めていくか、特にこの学力向上について危機感を持って、各担任がどれだけ取り組めるかということだと思っています。

そのために、このたび1年生から4年生の学力調査のかなり綿密な結果が出ましたので、それを各学校に配布しました。すると、これ数名の校長から聞いたことなのですが、担任の名前も含めて、この学級はできている、この学級はできていないという、非常にシビアな結果が出たことで、各学校では非常に危機感を持ったようです。かなり細かく、この子はこの教科のここでつまずいているということがわかり、校長によりますと、全部の児童の個々のデータを全教職員に配って、この子はここでつまずいているということを全員で共有したようです。そんな研修が今行われています。全ての学校ではないと思いますけれども、そういったことを校長会でも話をしているようです。そういう中で、このつまずきを何とかしないといけないということを3月までに行うことについては、各学校でその機運は高まっているということをも校長等の聞き取りの中で感じています。

来年度は、教育指導課でも研修の中身をいろいろ工夫します。例えば学期の早い段階で、1年生の指導で特に成果が出ている学校を研修で市内の学校ではここまでしているということを他の職員に見せるなど、良いモデルをしっかりと発表していくような研修をいろいろと企画をしております。良いものを見せるということと、それから意識を高めていくということ、この2つを学校教育総体で取り組んでいきたいと考えております。以上です。

○佐藤教育長 他にございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤教育長 次に日程第2、報告に入ります。

報告第1号専決処分報告及びこれが承認を求めることについて（平成30年度教育委員会補正予算要求書）の報告をお願いします。

○川齋庶務課長 教育長、庶務課長。議案集13ページをお開きください。報告第1号専決処分報告及びこれが承認を求めることについてでございます。専決処分をした内容でございますが、平成30年度教育委員会補正予算要求書でございます。

これにつきましては、市長が2月定例市議会に補正予算を提案させていただきましたが、教育委員会としまして、市長に対し補正予算を要求したという内容でございます。これについて専決処分を行いましたので、尾道市教育委員会教育長事務委任規則第3条第2項の規定により報告し、承認を求めるものでございます。

内容でございますが、14ページ以下になります。16ページへお進みをください。今回の平成30年度教育委員会予算要求総括表でございます。一番下、歳出の欄でございます。今回補正前の予算額が57億6,598万5,000円に対しまして、今回の補正予算要求額としまして3億3,688万2,000円の減額の要求をしている次第でございます。

まず、2月の補正予算と申しますと、全体としましては年度末でございますので、事業の進捗状況、また完成等、これに伴う精算業務、例えば入札残、執行残などを整理するという段階になります。それに伴いまして、当然歳入についても国、県の補助金の整理、市債等の整理を行うということでございます。

各課の状況でございますが、17ページ以降になります。まず、17ページの庶務課でございますが、今回予算要求としまして、歳出でございますが、2億5,983万5,000円の減でございます。大きなものといまして、まず小学校の施設整備費として8,198万1,000円の減額をしております。高須小学校の増築工事に係る設計等の委託料の入札残、土堂小学校の耐震対策検討業務委託料の入札残、さらには栗原北小学校の屋上防水改修等の入札残、小学校の空調設備の入札残、こういったものを今回要求させていただいております。

同じく中学校の施設整備費でございます。1億2,737万4,000円の減額がございます。これについても、先ほど申しましたように、例えば向島中学校改築工事や栗原中学校の大規模改修工事の着工の変更、またトイレの洋式化等につきましては、29年度に前倒しを行った部分について、当初予算から30年度分を落としました。さらには空調施設の整備について整理をしたという内容でございます。また、学校施設災害復旧費も減額をしておりますが、これについては設計業務の委託を翌年度に変更したことから、減額修正をしております。

続きまして、18ページ、生涯学習課でございます。生涯学習課も一番下の段でございますが、1,767万8,000円の減額でございます。大きなものとしては、公民館費の中で公民館施設整備費1,012万1,000円の減額がございます。これについては、公民館の耐震改修に係る補正ということですので。今年度は久山田分館の耐震診断のみを実施することにしたため、減額修正をさせていただいております。

続きまして、19ページでございます。因島瀬戸田地域教育課でございます。これにつきましても1,345万2,000円の減額をしております。大きなものといましては、小学校の施設整備費、中学校の施設整備費ですが、これも庶務課同様、トイレの洋式化や空調施設の整備の精算と考えていただければと思います。

続きまして、20ページ、美術館でございます。美術館も335万円の減額をさせていただいております。これについては、今年度の実績に基づいた見込み額の整理を行い、不用額を減額しております。

21ページの学校経営企画課でございます。こちらにつきましても2,140万円の減額をお願いしております。大きなものとしたしましては、小学校費の中で遠距離通学対策事業費でございます。主なものとしてはスクールバスの運行委託料でございます。今年度は災害等で休校となる日が多かったため、その実績により減額をさせていただいております。

22ページの教育指導課でございます。教育指導課においても1,971万7,000円の減額をいたしております。外国語指導助手の招致費や就学援助の支給費、こういった費用を今年度の実績に基づいて不用額の減額をさせていただいているという次第です。

最後、23ページの尾道南高等学校です。145万円の減額をさせていただいております。これも先ほどと同様、年度末に当たり不用額を修正させていただいたという次第でございます。

以上が専決処分の内容でございます。御承認をいただきますよう、よろしくお願いたします。

○佐藤教育長 丁寧な説明ありがとうございました。少し補足をさせていただくと、2月20日に提案をさせていただいて、それを2月21日の予算特別委員会でもう既に市議会でご審議をいただいて、教育委員会関係の補正予算については質疑等はありませんでした。2月25日の市議会でご承認をいただいているという状況でございますので、今丁寧な説明をしてくれましたけど、申しわけございませんが、ここは御承認をいただかざるを得ないという状況でございます。何か御質問等があれば、今後の参考にさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○豊田委員 22ページにあります理科教育振興費です。これは文部科学省から多分来ているのですが、達成率といいますか、充足率は高くなっていますか。各学校に必要なだけ出ているのでしょうか。

今現在、どこの学校もある程度理科教育振興費は充足しているのでしょうか。もしわかれば教えてください。この決算がどうということではありません。

○豊田教育指導課長 教育長、教育指導課長。理科教育振興費の充足率については、申しわけございませんが、資料が今手元にないので、どの程度かというのはわかりかねます。各学校から足りないものは要求させていただいておりますの

で、十分とは言えませんが、その都度補充しております。

○豊田委員 はい。わかりました。

○村上委員 22ページの歳出の小学校管理費や中学校管理費の中に一般事務費がありますが、これは具体的にはどのような事務負担でしょうか。職員の給料ということですか。

○豊田教育指導課長 教育長、教育指導課長。また後ほど報告させてください。

○村上委員 お願いします。

○佐藤教育長 他にありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤教育長 次に、報告第2号専決処分報告及びこれが承認を求めることについて（平成31年度教育委員会当初予算要求書）の報告をお願いします。

○川齋庶務課長 教育長、庶務課長。議案集24ページをお開きください。報告第2号専決処分報告及びこれが承認を求めることについてです。専決処分の内容は、平成31年度教育委員会当初予算要求書でございます。専決処分の内容につきましては、先ほど報告第1号と同様でございます。報告第1号と異なりまして、報告第2号当初予算要求については、これから市議会で議論がなされる予算特別委員会が3月の半ばに開かれますので、その中で議論させていただくという内容でございます。

内容でございますが、25ページ以下になりますが、これですと非常にわかりにくいということで、当初予算については別冊で主要施策・事業をお配りさせていただいております。こちらで説明をさせていただきたいと思っております。ここには26事業を上げておりますが、全ての説明にはなりませんので、主なものをお配りさせていただきます。

まず、総括でございますが、総括だけは議案集の27ページをお開きいただきたいと思います。歳出でございますが、一番下の段でございます。本年度予算額としまして51億3,739万1,000円を要求しております。

この内容でございます。まず、別冊の1ページをお開きください。主体的・対話的で深い学びの推進の事業でございます。予算額としまして、3,043万7,000円の予算を要求しております。主な事業でございますが、この1ページの真ん中にある四角い黒ぼつ5点を上げております。特に今回大きなものとして、一番右下にございます1,002万3,000円、読書活動推進事業でございます。これについては、本への興味を持ち、自主的な読書活動を行う子供の育成を図るため、学校図書館等を活用し実施する事業としまして、学校司書の配置や充足率の向上、これに大きく取り組んでいくといったものでございます。

続きまして、2ページをごらんください。国際化・情報化への対応の推進でございます。予算額としまして1億6,163万7,000円を要求しております。施策内容としまして、真ん中ほどに4つ上げておりますが、この4点目、情報化への対応（教育のICT化に向けた環境整備）を上げております。1億471万7,000円を要求をしております。この中で特に新規事業といたしまして、タブレット端末導入費といたしまして2,000万円を要求しております。全小学校に、各校1クラス分のタブレット端末を導入するということで、児童生徒に情報等の技術を活用する力を身につけさせる施策として、新規で上げさせていただいております。

続いて、3ページでございます。特別支援教育の推進ということで、9,414万1,000円を要求しております。引き続き特別支援教育の推進に向けて充実を図ってまいります。

以下、飛ばしまして10ページをお願いいたします。教職員が力を発揮できる環境を整備する取り組みについてでございます。予算額としまして、1,750万4,000円を要求しております。施策内容として4点を上げておりますが、左下、新規と書いてあります。統合型校務支援システムの導入でございます。これは学籍とか出欠、成績といった情報を一元管理できるシステムです。これを導入することで、書類作成等に教員がかける時間を削減し、子供にかかわる時間、さらには授業準備等に時間を割けるように支援システムを導入するということでございます。これは特にこれまで各校でばらばらであった様式を市内で統一できるといった利点も大きいと考えております。

その右側も同様に新規事業として、部活動指導員の配置でございます。これも教員の負担軽減、さらには部活動の充実という形で、運動部の指導や運動部活動方針に基づいて指導員を配置しております。来年度は試験的と申しますか、3名を配置したいということで、233万円の予算を要求させていただいております。

次に、16ページにお進みください。安全・安心で良好な学校施設の整備ということで、予算12億2,924万円を上げております。ここにありますように、学校施設の耐震化、空調施設整備、トイレの洋式化に引き続き予算を配分しております。また、栗原中学校の大規模改修等についても力を入れていきたいということで、安全・安心で良好な学校施設整備の一日も早い実現、拡充に向けて取り組んでまいり所存でございます。

続きまして、17ページでございます。学校給食施設の整備事業でございます。予算としましては1億2,328万円を要求をしております。このうち2番の施

策内容ですが、親子方式導入に向けた給食調理場施設整備事業として、予算額は78万円を要求しています。実は学校給食についてはこれまで自校方式、共同調理場方式、そしてデリバリー方式の3方式によって給食を実施してきました。しかしながら、親子方式という、いわゆる小学校の単独施設を使って調理した給食を近隣の中学校等へ配送するという方式の法的要件等の解釈の緩和等によりまして実現可能になってきたという状況がございます。これに向けて我々も浦崎小学校から浦崎中学校への給食の配送に取り組んでみたいと思っております。とりあえず来年度は施設改修に向けた設計委託となります。実現は、またその次の年になると思いますが、親子方式を導入することによって、いわゆる中学校の全員喫食に向けた動きについて、これもまた将来的にいつまでにはなかなか申し上げにくいのですが、まず浦崎小学校、中学校をモデル地区として、第一歩を進めたいということで、新たな展開として御理解をいただきたいと思っております。

続きまして、18ページでございます。生涯学習活動の推進ですが、予算額として642万4,000円を計上しております。施策内容としては、真ん中に上げている4点が大きいですが、特に今回は右下、公民館の施設整備ということで、老朽化した土生公民館について、旧土生小学校跡地への移転に伴う建設費を計上させていただいております。

続きまして、20ページをお開きください。スポーツを通じた交流事業についてでございます。予算額としまして、633万1,000円を計上しております。スポーツということになりますと、開催が間近の東京オリンピック・パラリンピックについて、事前合宿をメキシコチームが行います。その受け入れ、また市民と地域との交流という形で、事前合宿実行の負担金等を計上させていただいております。

22ページをお開きください。スポーツ施設整備事業でございます。スポーツ施設について、真ん中下にありますように、向島運動公園、因島運動公園の整備等に、合計1億2,250万円の要求をしております。特にそのうち1億1,660万円は向島運動公園の整備でございます。多目的広場は、人工芝テニスコートとして整備をする等の修繕を予定しております。

最後に26ページでございます。美術館関係でございますが、この中にはちょっと記載がございませんが、先ほどの議案集にお戻りいただいて、26ページがわかりやすいと思っております。26ページに大きな事業の要約版を上げておりますが、下から4番目でございます。海と山のアート回廊2020（仮称）でございます。実行委員会負担金として、1,016万円を新規で上げております。2020年に広

島島の現代アート事業として、海と山のアート回廊2020（仮称）を開催する予定でございます。プレイベントとしまして、尾道において広島や尾道にゆかりのある作家により構成する展覧会を開催いたします。1,016万円のうち、美術館が816万5,000円を要求し、残りは文化振興課関係の予算ということでございます。

以上、来年度予算にかかわります予算要求の主な概要を説明させていただきました。御承認をいただきますよう、よろしくお願いを申し上げます。

○佐藤教育長 ありがとうございます。これは、3月11日から14日まで予算特別委員会があります。御意見、御質問をお受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○村上委員 学校や教育委員会の内部の情報管理に関する予算はないのですか。今までいろいろと不祥事の報告がありましたが、USB等の取扱いなどを改善するようなものは、今回あるのでしょうか。

○川緒庶務課長 教育長、庶務課長。教育委員会も含めた事務局部門で申し上げますと、事務局部門については市全体でシステムを組んでおりますが、今後システムの様式が変わります。ログイン方式が変わるという通知をいただいております。

全国的に見ると、毎週のように情報漏えいなど、いろいろな不祥事や問題が起こっていますし、市全体でも情報システム課を中心に取り組み、改善は進んでいます。その中に教育委員会も含まれております。

例えばUSBの持ち出しは、完全に登録制度にして、基本的には持ち出せないようになっております。また、学校は別の制度があるのですけれども、この校務支援システムなども、まず大きな情報管理の第一歩であろうかと思っております。例えば指導要録や成績表関係は今紙ベースですので、紛失の恐れがあります。校務支援システムにより簡素化されて、一元的に管理ができるようになれば、データを改ざんされないようにということが必要です。これまでの他市の導入経過や運用状況も見ていますので、それに見合ったシステムが導入されるものと我々も期待しているし、そのように考えております。以上です。

○佐藤教育長 ほかにございますか。

○中田委員 この別冊資料の2ページの一番下側に、新規でタブレット端末導入費2,000万円が上がっているのですけれども、その下の下のコンピューター教室のPCリース料の方がはるかに高い8,000万円という数字が上がっています。もともとは多分固定のコンピューター教室でPC教育を行うということだったと思うのですけれども、その中で近年タブレット端末が入ってきたと思うのです

が、新たにタブレット端末も導入することで、PC教室のPCの予算は減っているのでしょうか。それとも、これはこのままでしょうか。何かダブっているというか、どちらも必要なのかと思います。費用も大きいですし、今後の見通しも含めて固定のPCとタブレット端末をどのように活用していくのか、尾道市の見通しがあれば教えていただきたいのですが。

○**豊田教育指導課長** 教育長、教育指導課長。来年度は各学校に一クラス分、タブレット端末を導入します。その次の32年度はちょうどパソコン教室のリースが切れますので、それをタブレット端末に替えていこうという整備計画を考えています。

○**中田委員** 31年度は契約の問題ということですか。

○**豊田教育指導課長** 教育長、教育指導課長。31年度は新たに追加します。今ありますパソコン教室に追加してタブレット端末を導入していきます。

それで、全体の整備計画として国が示しているのは、3クラスに一クラス分のタブレット端末を導入するということですので、まずは来年度、各小学校に一クラス分を導入していきます。続いて32年度については、パソコン教室のリースが切れますので、そこに新しいパソコンではなくタブレット端末を導入する形で整備をしていきます。

○**佐藤教育長** 説明になっていない。要はパソコン教室の形態は残すのか、タブレット型に替えていくのか。国の最終形の5カ年計画は、3クラス分に一クラスなので、生徒に対して3分の1はタブレット端末を導入するという国の方針のもとに尾道市も進めていくのでしょうか。

○**豊田教育指導課長** はい、そうです。

○**佐藤教育長** その一環で、来年は全小学校の一クラス分に導入するのでしょうか。来年はパソコン教室のパソコンのリース替えなので、それをタブレットに変えるということはわかったけれど、タブレット型は各普通教室へ配置しようとしているのか、パソコン教室は別途だから、ダブっていないか聞かれたので、その最終形をどうしようと思っているのかという考え方を説明してもらわないと答えになってない。

○**豊田教育指導課長** 教育長、教育指導課長。答えられなかったのは、そこがまだ明確になっていないのです。でもいずれパソコン教室は要らないようになると思います。ただ、そうしていくと尾道市の学校では校内の無線LANができていないので、通信機器との整備の兼ね合いもありますけれども、将来的にはパソコン教室はもう必要でなくなると考えています。いろいろな整備の段階もありますので、全体像がうまく話ができませんでした。

○中田委員 だから何年度というところまで明確ではなくて、将来的という表現なのですね。

○豊田教育指導課長 教育長、教育指導課長。はい。そうです。

○杉原学校教育部長 教育長、学校教育部長。計画は5年計画で策定しているのですが、今手元に資料がないので、後また具体的な御説明をさせていただきたいと思います。

○佐藤教育長 また、その資料を整理して、教えてください。次の全体計画とそ
の中のタブレット端末と今までの分を整理してください。

ほかにございませんか。

○奥田委員 10ページの統合型校務支援システムの導入ですが、来年度から導入
でよろしいのですね。その際に、先ほど言っておられましたが、外部からのウ
イルス感染に対するプロテクトをしっかりされないと、何年か前に情報が流出
したことがありましたので、便利ですけれども、もし被害が出ると大変なこと
になりますので、そのことは考えておられるのでしょうか、よろしくお願
いしたいと思います。

1 ページをお願いします。読書活動推進事業に力を入れるということで、い
いことだと思います。1,000万円の予算ですが、この中で学校司書の配置と学校
図書館の蔵書の充実を上げておられます。平成30年度と比べて、学校司書の配
置人数を増やすのか、具体的にどう変わっていくのかということの説明いた
だければと思います。

○豊田教育指導課長 教育長、教育指導課長。読書活動推進事業ですが、学校司
書の配置は今年度4人から5人に増やしましたので、増員はございません。

それから、学校図書館の蔵書の充足率については、全体で200万円増です。読
書活動推進指定校に新聞購読代として50万円ですから、今年度かなり減額をし
ておりますので、全体的には30年度の予算内容と変わってはいないというこ
とです。

○佐藤教育長 この表の見方の説明を最初にしていないですが、新しいものは新
規と入っていますし、増やすものは拡充、それがないものは基本的には前年と
変わりがないと見ていただければいいです。

例えば10ページを見ていただいて、4つのうち下の2つは新規と入れていま
す。右上は拡充と入れてあります。何も無いのは大体前年と同じくらいだとい
うことです。

○奥田委員 そういうことですね。わかりました。

○豊田委員 2ページの国際交流推進事業ですが、新規として、国際教育推進指

定校の台湾への修学旅行費補助があります。今年度は美木中ということでしたが、今後各中学校がそのような方向に行くのか教えてください。

○**豊田教育指導課長** 教育長、教育指導課長。これは、台湾への修学旅行の補助金で、指定している美木中学校と御調中学校の2校のものでございます。一人頭2万7,000円の97人分を計上しております。

ただ、これは来年度1年のみの補助金になっております。今後は、来年度の成果を踏まえて市内に広げていくかを検討していきたいと思っています。

○**豊田委員** 1年だけ行ってみて、その結果ということですか。

○**豊田教育指導課長** 教育長、教育指導課長。はい。そうです。

○**豊田委員** わかりました。ありがとうございました。

○**中田委員** 9ページの食育健康教育の推進は、今年度の予算もなかったのですか。ゼロからゼロでしょうか。

○**豊田教育指導課長** 教育長、教育指導課長。予算としては同じゼロでした。

○**中田委員** お金がかからない事業で良いのか悪いのか、わかりませんが、ここだけが予算がないので、どうなのですか。去年は気づかなかったのですが。

○**豊田教育指導課長** 教育長、教育指導課長。食育ですけれども、学校保健会と連携しながら、講師の先生も学校保健会の予算で呼んで、食育や健康教育についての研修をしております。

それから、第2次健康おのみち21という会にも参加し、市の関係課とも連携して食育や健康教育を推進しておりますので、教育指導課で特段予算は計上していないということです。

○**佐藤教育長** 10ページの教務事務支援員の配置ですが、これは拡充でいいのですか。内容を教えてもらえますか。

○**小柳学校経営企画課長** 教育長、学校経営企画課長。これは拡充になります。今年度は市費による配置が10名だったのですけれども、来年度は15名となります。これによりまして、今年度は県費でも5人配置しておりますので、全体では来年度の予想は20名の配置ということです。単独配置校と1人で2校に行っている場合もありますので、来年度の計画では今年度の22校配置から32校配置となります。小中学校の合計は40校ですから、8割の学校に教務事務支援員が配置できるものと試算をしているところでございます。

○**佐藤教育長** 市費で5人増えるのですね。

○**小柳学校経営企画課長** 教育長、学校経営企画課長。はい。

○**佐藤教育長** わかりました。8割といたら小規模校を除いたらほとんどです

ね。

他にございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤教育長 他にないようでしたら、以上で日程第2、報告を終わります。

この際、その他として委員さんから何か御意見や御質問があれば、議案以外で結構ですので、お願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○豊田教育指導課長 教育長、教育指導課長。先ほど村上委員さんから一般事務費について御質問をいただきましたので、回答させていただきます。

一般事務費というのは、校医さんの報酬や委託料を計上しておりますので、その予算がこの一般事務費ということです。以上です。

○村上委員 学校医ですか。わかりました。

○佐藤教育長 他にありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤教育長 ないようですので、以上をもって本日の日程は終了しました。

これをもって本日の会議を散会すると同時に、第2回教育委員会定例会を閉会いたします。

なお、次回の定例教育委員会は3月22日金曜日、午後3時からを予定しております。

お疲れさまでした。ありがとうございました。

午後4時25分 閉会